

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

Growing

June 2017
Vol. 58
毎月10日発行

【本部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000

【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984

【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722

【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117

【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467

「レベル別入試問題」と「単元ロードマップ」 受験を見据えた定期対策で実力アップ



高木 秀章(塾長)

皆さんの元にこのGROWINGが届く頃にはもう梅雨入りしている頃でしょうか。今はちょうど各学校、中間テストの結果が戻り、期末テスト対策に入ろうとしている時期だと思います。

中学1年生は、今回が初めての定期テスト対策でした。多くの生徒が3時間自習や9時間自習に参加し、「こんなに勉強したのは生まれて初めて」と感じた人も、少なくともなかったと思います。辛かったかも知れませんが、連日の3時間自習や9時間自習をする中で、「自分は頑張っている」という充実感を感じられたのではないのでしょうか。

また、頑張った割に点数に結びつかなかった人は、必ず間違い直しを行い、間違えた理由を確認してください。問題を最後まで読まずにケアレスミスをしたのか、暗記が不徹底だったのか、学校の先生のノートを復習していなかったのか…。そうすることで、次のテスト対策でどこに気をつけて勉強すれば良いかが分かります。

保護者の方にとっては、子供達の環境が目まぐるしく変化し、見えない部分が増え、ご不安もあるかと思います。子供達の様子や、定期テスト勉強についてなど、ご心配がある時は遠慮せず各教室にご相談ください。期末テストに向け、保護者の方のご意向にお応えできるよう、できる限りの対応を行います。

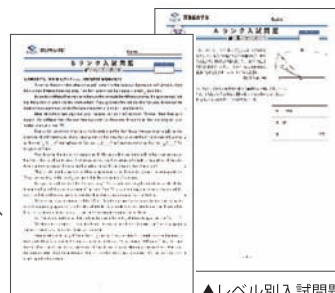
ここで、皆さんに定期テスト対策について、重要なことをお伝えしたいと思います。それは、**単に定期テストの勉強をしていても、受験に必要な実力は身につかない**ということです。その証拠に、定期テストの成績はいいのに実力テストや模擬テストが悪い。またその逆の生徒がたくさんいます。

定期テストで出題される問題は、一部で応用問題も出題されますが、その多くが基本事項や暗記事項の確認問題です。ですから、多くの生徒が、テスト直前にテスト範囲の内容を猛烈に暗記し、テスト終了後その内容の殆どを忘れてしまいます。また、一見、基本を固めれば、受験に出題される応用問題は解けると考えがちですが、それは間違いです。確かに、応用問題は基本事項を組み合わせで構成されていますが、応用問題を解くためには、基本事項をいかに組み合わせで解くか、その組み合わせ方の理解が必要です。基本事項をしっかり覚えていても、その使い方を知らなければ何の役にも立ちません。

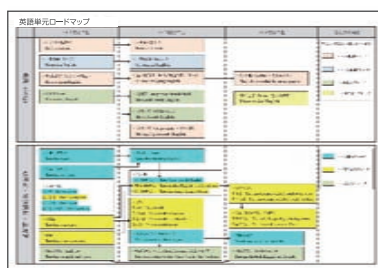
それでは、定期テスト勉強は無駄なのか?もちろん、そうではありません。

定期テストの勉強を通して実力を付けるためには「受験問題から見た今の学習内容との繋がり」「教科全体から見た今の学習内容の役割」を知り、勉強に取り組むことが必要です。受験で出題される応用問題を解く中で、各単元内容はどのように組み合わせられ出題されるのか。また、教科学習において、この単元を理解できることで、次にどの単元が理解できるようになり、逆に今理解できないのは、どの単元が出来ていないからなのか。同じ定期テスト勉強でも、今自分が学んでいる単元内容が、受験でどのように出題され、今までのどの単元と関係し、これから勉強するどの単元と繋がるのか。単元の関係性を意識して学習することで、理解が深まり、結果として、記憶も強化されます。このために、カイチが取り組んでいることが、毎授業内で行う「レベル別入試問題」と「単元ロードマップ」です。

カイチでは、授業ごとに「レベル別入試問題」の演習を行い問題レベル毎に、現在の勉強内容がどのような形で、他の単元内容と複合し出題されるのかを、理解できるように指導を行っています。受験問題と聞いただけで、「難しい」と考える人もいますが、受験問題は丁寧に一つ一つの情報を整理すれば必ず解けるようにできています。また、理解を確かめる最も良い方法が、説明できるかどうか。問題の解説を自分の言葉で、間違い直しノートにまとめることで、解答への道筋を論理的に説明する力が育ちます。



▲レベル別入試問題



▲英語単元ロードマップ

「単元ロードマップ」は、制作に時間がかかり、6月ようやく皆さんに配布できるようになったプリント集ですが、各教科の単元同士の繋がりを一目で理解出来るようにまとめられたプリントです。右は英語の単元ロードマップですが、3年間で学ぶ文法事項と例文はこれで全てです。これを見れば、

中1の始めに習うbe 動詞が、中3の受動態に繋がっていることや、中2の英文法の大きなテーマが過去形であることなどが一目で分かります。

中1生にとっては今の学習が中2・中3のどの単元に繋がっているのか、中2生にとっては、今の単元を理解するには、どこを復習し、それによって中3のどこが出来るようになるのか、中3生にとっては受験における弱点箇所と、そこを理解するための戻り箇所の分析にも使えます。社会・理科においては、このプリント内容をしっかり理解し覚えるだけでも偏差値60程度になることを前提に制作してあります。

定期テストにおいて、目先の点数に手一杯になる気持ちは分かります。しかし、少し視野を広げて、受験全体・教科全体から今の学習単元の役割を考える。それだけで、同じ定期テスト対策でも、その意味や取り組み方は全く変わります。まずは、中間テストの間違い直しを行い、間違えた原因を明確にし、自分の学習方法を確認すること。次に期末テスト対策の学習単元を単元ロードマップで確認し、今学んでいる学習単元が、過去と将来のどの単元に繋がり、教科学習全体においてどのような役割をしているのかを知ってください。そうすることで、定期テスト対策が、単なる丸暗記から、受験を見据えた、実りあるものになります。

先生達もしっかりサポートします。期末テストは受験を意識して頑張ってみることが大切です。

CLASSROOM REPORT 教室レポート

新学年の疲れが出るこの時期も 上本町生は元気に笑顔で 頑張っています。

マナロ 恭子 (バスカルキッズ上本町教室)



新学年が始まり、少し経ってゴールデンウィークが過ぎた今、他の教室でも同じだと思いますが、子供達は新学年になって新しいことだらけの日常の緊張感に心身ともに少し疲れてくる時期になってきたようです。授業中も少し落ち着きがなかったり、今までしたことないミスをしたり、どうしようもない眠気が襲ってきたり、つまらないことですぐ泣いたりする子がちらほら。保護者の方とは、「そういう時期だから、あまりガミガミ言わず、しばらく様子を見ましょね。」と言っています。子供達なりに、新しい生活や新しい人間関係などでいろいろ苦労をしているのでしょうね。

それでも、子供達はいつも元気に笑顔で教室に入ってきます。そして「楽しく勉強している」のが本当に見ていてよく分かります。

小学入試クラスには、通い始めて2年目になる子供達と、今春から通い始めた子供達がいますが、2年目になる子供達はずいぶん成長しました。去年は面接の練習では、あまり言葉を発せなかったのに、今ではとてもしっかり受け答えをしていて、上手にお話しています。「これは得意じゃないからしたくない」と言って数のお勉強が嫌だった子も、「がんばる」と言って最後までできるようになりました。また、今春から通い始めた年少さんは50分、年長さんは90分という長い授業時間にも弱音を吐くことなどいっさいなく、よく頑張っています。

能力開発クラスの子供達は、ようやく「自分で考える」力が身に付き始めました。通い始めの頃

は、すぐに「先生、こんな問題やったことないから分からへん。」と言っていたのが、「え～！難問いやや～！」と言いながらも、ああだこうだ、ぶつぶつ言いながら図にしたり、計算式を書いたり消したりして、長い時間考えるようになりました。そして何よりもうれしく思ったのは「作文の力」が付いてきたことです。3行・5行日記を3分で書いてもらうところを、3分経ってようやく書くことが決まるというレベルでしたが、今では5行では足りないことが多くなり、想像力や表現力が豊になってきました。講習会では読書感想文を書く練習もしますが、この3行・5行日記の成果がよく見られます。そして最近入塾してこられた生徒達は、読書や、日記、読解演習、能力開発問題に、実感指導、そしてテキスト、ゲーム、全てが新鮮で楽しくてしかたがないといった様子です。70分授業なのですが、「今日はここまで。」と言うと、「え！？早っ！」と残念がる生徒達の姿にうれしい気持ちが高鳴ります。

そしてトーキングキッズでは、5月に遅ればせながらイースターレッスンを開催しました。子供達は去年のハロウィンの時とはまったく別人かのように、英語を話すことを恥ずかしがる素振りもなく、「カトリーナ先生、何言っているか分からん」というような表情もなく、「解った？」というカトリーナ先生の言葉に「イエ～ス！」と即答し、外部の生徒に教えてあげる姿が見られました。外国人の先生に代わった当初は、「何言ってるか全然わからん。」「難しい」と言っていたのですが、1年も経たないうちにこれほど成長するものかと、

子供達の可能性には本当に驚かされます。

そして何よりも、私達スタッフが一番ホッとさせてもらっているのは、保護者の方達も子供達と一緒にいつも笑顔で帰っていただけていることです。子供達は「今日も頑張った」という顔で教室を出ていきます。保護者の方々も子供達の頑張りを認めていただけているのだと思います。もうすぐ夏期講習。子供達がいよいよ実力をつけられるようなプログラムや問題をスタッフ一同考えて参ります。是非ご参加ください。



▲小学受験クラス



▲能力開発クラス



▲トーキングキッズ(イースターレッスン)

これは、今年小学1年生になる前の春期講習で書いてもらった『スズの兵隊』の読書感想文です。年長さんの頃は、読んだ本の感想を話してもらっただけでも一苦労でしたが、話す練習を繰り返すことで表現力がつき、毎週の日記・作文で書く力を上げていき、このような素晴らしい読書感想文を完成させることができました。

Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

Easter event ~SEE THE WORLD ONE STEP AT A TIME! イースター ~一歩ずつ世界を知ろう

マーク アイバン ソリアノ (トーキングキッズ担当)



Hello! How's everyone doing? I hope you are all enjoying good weather we have for spring because we definitely are. We can say goodbye to the cold days and nights of winter and let us embrace the sunshine and see the flowers bloom. Spring is finally here! And what do you think is one of the most popular events in spring?

Can you guess? It's.... It's.... Come on now you can do it! It's... E-A-S-T-E-R!

Yes, you read that right! It's Easter! It is one of the famous events in spring. And our schools held events in different places. More than 100 students combined joined the event and I tell you, it was very fun! There were so many activities in that two-and-a-half hour event and the students still wanted more. I think they had the time of their lives. Actually, I felt the same way, too.

I felt the joy and happiness of the Talking Kids students when we were having the event. Also, I saw the shine in the eyes of the other children who were not English students. And I know that they are already thinking about joining the Talking Kids class because they feel that learning English is F-U-N!

One of our goals is to help and improve the English ability of our beloved students which can help them land a great opportunity in the future. We always do our best for our students.

Now let me tell you something about what happened

皆さん、こんにちは。寒い冬に別れを告げ、春になり過ごしやすいい日が続いています。春麗らかな日差しを受けて咲く花を見てみてください。とても穏やかな気持ちになりますよ。春の最も人気のあるイベントの一つは何だと思いませんか？

考えてみてください。それはイースターです。

イースターは春の有名なイベントの一つです。そして、カイチでは各教室でイースターイベントを開催しました。全教室で100人以上の生徒達が参加し、とても楽しいイベントでした！2時間30分のイベントでやる事が盛りだくさんでしたが、生徒達はもっと色々体験したかったようでした。生徒達は素晴らしい時間を過ごし、私も生徒のみんなと素晴らしい時間を過ごしました。

今回は大成功に終わったイースターイベントについて、お伝えします。

最初に、フラッシュカードで春の時期に最もよく使われる英単語を学習しました。一通り学習した後、参加している生徒は多くの問題を解答しなければなりませんでしたが、積極的に解答していました。答えると特別なプレゼントをもらえたからかも知れませんが。

次に、イースターについてのビデオを視聴して学びました。イースターはイエス・キリストの復活

in our successful Easter event.

First, we showed them the spring vocabulary flashcards to help them familiarize with the English words that are most commonly used in spring time. It helped them a lot because there were so many question activities that had to be answered to get the special treats.

Secondly, we showed them a video presentation about Easter. Easter is a Christian event which celebrates the resurrection of Jesus Christ. Students had an idea what the meaning of Easter is. Thirdly, we had egg-painting and egg-hunting activities. The kids had a blast with those activities by coloring their eggs with crayons and dipping them in food coloring which had 4 colors (red, blue, yellow, green) which was perfectly safe to eat after. They also enjoyed the egg-hunting activities in the park or school (when it rained, yes, unfortunately it rained).

Lastly, the main event of the activity was the piñata. Students were full of energy beating and trying to break open an egg-shaped piñata full of sweets inside with a stick.

I felt the joy and happiness of the Talking Kids students when we were having the event. Also, I saw the shine in the eyes of the other children who were not English students. And I know that they are already thinking about joining the Talking Kids class

を祝うキリスト教徒の大切なイベントです。生徒達は全編英語のビデオでしたが、視聴後に説明を受けたりすることでイースターの意味を理解してくれました。

第三に、私達はイースターエッグを作りました。まず、子供達は卵にクレヨンで絵や文字を書きました。その後、赤、青、黄、緑の食紅を使用し、卵に色をつけて、綺麗なイースターエッグを作りました。また、天気がよかったクラスでは、先生が公園に隠した卵をみんなで探しました。(残念ながら雨が降ったときは教室でゲームを楽しみました。)

最後に、メインイベントのピニャータをしました。元気いっぱいの子供達は、お菓子でいっぱいの卵形のピニャータを棒で開けようとしていました。(※ピニャータとはメキシコのお祝い事によく使われる日本のくす玉のようなもので、紙で作られた型枠の中にキャンディなどのお菓子を入れ、それを上から吊して棒で叩いて割るゲームで、イースターやクリスマス等で楽しまれています。)

イースターレッスンでトーキングキッズの生徒達が楽しんでいる様子を見たとき、私は喜びと幸せを感じました。また、トーキングキッズ生ではない子供達も目が輝いていました。それは英語を学ぶのが「楽しい」と感じているからだと思

because they feel that learning English is F-U-N!

In my opinion, I think having these kinds of events are the foundation of learning. Why? Because they learn so much from other cultures that will help them embrace the world they live in. The aim of every event we hold is to make sure our students have a balance in study and play, as well as building up their confidence to help them easily fight the challenges ahead.

One of our goals is to help and improve the English ability of our beloved students which can help them land a great opportunity in the future. We always do our best for our students

So there you go, those were the activities that surely made the students busy and happy.

We can't wait for the next activity that we are going to have!

See you soon! Bye!



トーキングキッズのHPができました。
<http://www.talking-kids.com>

います。

私はこのようなイベントを通して学ぶことが、学習の基礎であると考えています。それは生徒達が異文化から多くのことを学び、異文化の人達が住んでいる世界を理解するのに役立つからです。私達が実施するあらゆるイベントの目的は、生徒達が学習と遊びのバランスを取り、新しいことに積極的に挑戦するようにすることです。

私達の目標の一つは、将来、大きなチャンスが目の前に来たとき、英語力が無くて逃さないようにするため、生徒達の英語力を向上させることです。私達は生徒のためにいつも全力を尽くすことをお約束します。

イースターは、生徒達にとって盛りだくさんの楽しいイベントでした。私たちは次のイベントも楽しみにしています。

また近いうちにお会いしましょう！



COLUMN: 先生紹介 ▶ 村岸 真樹 (関目教室)



はじめまして。関目教室で集団クラスを担当している村岸真樹と言います。開明高校出身で、現在は関西学院大学の理工学部にて在学しています。私は、小学5年生から開智総合学院に通い始めました。当時、私は理科が苦手科目でした。中学校に入り、さらに理科に対する苦手意識が増していく中、先生方にほぼ毎日質問

できた環境のおかげでだんだんと理解できるようになり、今では理系の科目を専攻するまでになりました。私は理系なのですが、実は英語が得意です。ここで、私なりの英語の勉強方法を紹介したいと思います。高校時代、急に英語の難易度が上がったときに、授業についていだけで精いっぱい時期がありました。そんな時に洋楽好きの友達に会い、様々なジャンルの音楽を紹介してもらいました。自分も徐々に洋楽の世界に吸い込まれ、歌詞を覚えて口ずさめるようになりたいと思いました。そこで英語の歌詞をただ暗記するのではなく、歌詞の中に出てくるフ

ーズを一つ一つ調べ、その歌に込められたメッセージを理解した上で歌詞を覚えました。このおかげで、単語を覚えることができ、長文を読むスピードも上がりました。このように、自分が興味ある事であれば、いろいろ工夫しながら勉強でき、効率も上がります。普段の勉強に興味を持つことはなかなか難しいかもしれませんが、皆さんも興味を持ったことをトコトン突き詰めてみてはいかがでしょうか。



川西のちょっと イイ話

TEACHER'S VOICE 川西 久志 (今福教室)

中1生初の9時間自習お疲れ様でした。

先日、カイチでは9時間自習を行いました。中学1年生にとっては初めての9時間自習ですから、来る前は「本当に9時間も勉強できるのかな」と不安だったかもしれません。しかし、いざ始めると集中して、とてもよく頑張りました。中には、「ええ、もうそんな時間？ もうすぐ終わるやん」と9時間という時間が意外と短く感じた人もいたようです。

今までに経験したことのない長時間の勉強をする生徒達が心配になり、数人の生徒に声をかけると、「みんなで勉強するのでむしろ楽しい」という感想や、「頑張るとできることが増えて嬉しい」「しんどくてもいい点を取りたい」など、前向きな言葉が聞けました。慣れないクラブ活動や塾での自習が続き、体力的にも精神的にも負担がかり、体を壊さないかが心配な時期でもあります。ですが、私の気持ちをよそに、生徒達は前向きで逞しいのだなと思いました。

夕方になると、生徒達がそわそわし始めます。理由を聞くと、「お弁当まだー?」の声。どうやらお弁当を心の支えにして頑張っていた人もいたようで、お弁当の時間はみんなで大はしゃぎ。疲れているかと思ったらむしろ元気。やはり、若者はすごい。

カイチの9時間自習は昔、テスト直前の土曜日

に生徒の一人が自主的に勉強をしに来たことがきっかけで始まりました。そのときはたまたま塾長が溜まった仕事を片付けていたので、その横で一緒に生徒が自習し、塾長が晩御飯を食べるので、一緒に食べたのが始まりです。それで私も我もとなり、今では定期テスト前のビッグイベントになりました。

中学1年生の皆さんの中には連日の3時間自習、9時間自習で疲れた人もいます。しかし、最初のテスト対策でしっかり勉強する経験を持つことで、テスト前にはしっかり勉強する習慣と、長時間学習できる体力が身につきます。さらに9時間自習はテスト直前の土曜日に行われるので、不理解箇所の質問や補習を自習内で受け、翌日の日曜日、その知識を復習して、しっかり定着でき、効率的にテスト対策の総仕上げができます。

最初のテスト対策本当にお疲れ様でした。中学生の勉強はこれくらいやらなくてはならないということが実感できたのではないのでしょうか。これからもテストは続きますが、一つ一つ乗り越え、自分の目標を達成してくれたら、私達もこれほど嬉しいことはありません。次は期末テストに向けて、また頑張りましょう!



カイチからのお知らせ

- 6月中旬に期末模擬テストがあります。予想問題でしっかり学習しておきましょう。
- 6月17日(土)、6月25日(日)は中学生対象で9時間自習を行います。定期テストまで最後の追い込み、みんなで頑張りましょう。
- 6月25日(日)は珠算上級検定です。合格目指して、しっかり練習しましょう!